

# 八尾市教育センター

# NEWS

令和4年4月

所報：372

相談支援係  
072-941-3365

情報チーム  
072-943-5785

研究研修係  
072-943-5784

教育センター  
Web pageは  
こちらから



## 令和4年度も よろしくお願ひいたします

春の光がうらかな季節を迎えました。

平素より、八尾市教育センターの事業にご理解とご協力をいただきありがとうございます。当センターは、本市の中核市移行に伴い、教育振興に係る拠点施設として現在の高安の地に移転して、本年度で5年目を迎えました。前身であります教育サポートセンターが平成17年、教育相談所が昭和50年、教育相談室が昭和48年に開設されたことを振り返りますと、長い歴史を感じ改めて身の引き締まる思いです。今まで培ってきたものを大切にしつつ、時代の流れとともに変化を重ねてきたものを取り入れて、取組みを進めてまいります。

令和4年度は、研究研修係、相談支援係の両係と、幼児教育、情報チームの体制のもと国の教育改革の動向や本市教育の教育課題を踏まえながら、教育研究・研修、学校ICT活用事業、教育相談、就学相談、特別支援教育推進事業など、様々な事業を行ってまいります。

教職員研修におきましては、「主体的・対話的で深い学び」等の実現に向け、多様な研修を実施していきます。前年度は、新型コロナウイルス感染防止対策の観点からリアルタイム（同時双方向）、オンデマンド（個別録画視聴）研修など従来の集合型研修に加えてICTを効果的に活用した研修を実施してまいりました。今後も、感染症対策を行いながら、研修内容によってより効果的な学びにつながるよう実施形態を工夫してまいります。

また、変化が激しい時代において、教員には、今までの教育実践も大切にしながらも、自律的に学ぶ姿勢をもち、時代の変化や自らのキャリアステージに応じて求められる資質能力を、高めていくことが必要とされています。こうしたことを踏まえ、教育課題に応じた教職員研修の実施や研究を推進し、「学び続ける教員」を支援してまいります。

本センター業務を通して、子ども、保護者、学校を支援し、「認め合い ともに生き未来を切り拓く 八尾の教育」を推進してまいります。

今後ともご支援・ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。



八尾市教育センター

所長 打抜 真由美

# 八尾市教育センターでは、このような事業を行っています！

教育相談事業	子どものすこやかな成長・発達を願い、教育上のさまざまな課題や保護者の悩みについて、来所相談及び電話相談を行います。また学校への巡回相談なども行い子どもたちをサポートします。
不登校児童生徒支援事業	さまざまな要因によって登校できない状況にある児童生徒に対して、学校復帰・社会的自立に向けての援助（集団生活への適応指導、学習援助、教育相談等）を行います。
就学相談事業	個別の教育的支援が必要な幼児児童本人や保護者の教育的ニーズや意向を踏まえ、より良い進路をともに考えていきます。
特別支援教育推進事業	特別な教育的ニーズのある児童生徒に対する総合的な教育的支援のために、専門家チームが巡回するなど、学校への支援を行います。
SSW（スクールソーシャルワーカー）活用事業	スクールソーシャルワーカーを学校に派遣し、子どもが抱える諸課題に対してアセスメントとプランニングを行い、関係機関と連携して児童生徒や保護者への支援体制構築を図ります。
スクールサポーター派遣事業	大学生や地域住民をスクールサポーターとして市立学校に派遣し、学習支援や支援学級の活動支援の補助など、さまざまな教育活動の支援を行います。
教育研究・研修事業	<p>&lt;教職員研修&gt;            教職員の資質や知識技能の向上を図るため中核市教育委員会として法定研修をはじめ教育的ニーズに応じた研修を実施します。            ○初任者・新規採用者研修、2年次研修            ○3年次研修            ○5年経験者研修・10年経験者研修            その他、分掌別・担当者研修や各種課題別研修を行います。</p> <p>&lt;教育研究&gt;            各学校長の推薦で研究協力員を募集し、授業研究や資料・情報の収集を行い、その実践事例などの成果を学校に普及していく活動を行います。</p>
教育情報収集・提供事業	教科書センターとして、教科書の展示や貸し出しを行います。また情報公開コーナーを設置し、教育図書などの閲覧や貸し出しを行います。
幼児教育研究・研修事業	幼児教育に関する研修、園内研修会への指導助言、幼児教育研究、特別支援教育・保育巡回指導を実施いたします。公立園と私立園の保育者が共に学び合う機会の充実を図り、幼児教育アドバイザーも活用しながら、八尾市の幼児教育・保育の質の向上と、小学校・義務教育学校前期課程における教育への円滑な接続をめざします。
小中一貫教育推進事業	中学校区でめざす子ども像を共有しながら、教職員が連携・協働し、子どもの9年間の成長を見通した指導体制・指導方法等を工夫することで、「学習意欲の向上」や「豊かな人間性や社会性の育成」をめざします。
学校ICT活用事業	協働的な学びや個別最適な学びを実現するためにICT環境を整備します。そしてICT活用による授業改善及び子どもたちの情報活用能力の向上をめざし、教職員にタブレット端末等ICT機器の活用研修や情報モラルに関する研修、プログラミング教育の推進などを行います。また校務支援システム導入では教員の働き方改革を推進します。さらにGIGAスクール構想の実現に向け学校ICT環境整備や情報機器・ネットワーク等情報インフラの管理運営業務を通して、教育の情報化の振興と充実を図ります。



## 介助員・看護介助員・特別支援教育支援員研修

介助員・看護介助員・特別支援教育支援員の研修を令和4年4月7日（木）午後1時30分～2時30分に行いました。今回はZoomによるリアルタイム受講（同時放映）と集合型による受講を選択しての実施となりました。20名ほどの方は教育センターで受講されましたが、その他80名の方はZoomでの受講でした。Zoomでの参加者には事前に招待URL・ミーティングID・パスコードをお知らせしています。研修内容は①「勤務について」 ②「特別支援教育の基礎基本」です。講師は本センター辻佳与子指導主事が務めました。



### <受講者の感想>

- ・周囲の子どもたちが望ましい対応をしてくれた時に、十分褒められていないことに気付きました。（介助員）
- ・障がいの捉え方としてICFの考え方や合理的配慮の例などはわかりやすく、子どもたち一人ひとりにあった支援に生かせると思いました。（特別支援教育支援員）
- ・最初は看護介助員の仕事内容について悩んだが、学級担任と連携しながら支援する役割だと分かった。安心・安全を第一に支援していきたい。（看護介助員）

## 特別支援教育コーディネーター研修



特別支援コーディネーター研修を令和4年4月7日（木）午後3時～5時に行いました。対象は幼稚園・保育園・こども園・小学校・中学校の特別支援教育コーディネーターです。講義1は「大阪府の支援教育、八尾市の支援教育の現状について学ぶ」として本センター中嶋巨人指導主事が講義しました。講義2は「特別支援教育コーディネーターの役割、アセスメントから効果的な支援へ」として梅花女子大学の伊丹昌一教授にお願いいたしました。

60名以上の受講者は大研修室に集まり、新型コロナウイルス感染拡大防止のため窓を開放して行いました。幸い春風は心地よく外では桜吹雪が舞いました。

### <受講者の感想>

- ・研修内容は大変分かりやすく、担当する生徒の顔を思い浮かべながら聞くことができた。
- ・昨年度から夜間学級に支援学級が設置されて担当しているが、今日の研修で「自立活動」の方向性が見つかった気がする。
- ・あらためて「傾聴」の大切さを感じました。子どもの思い、保護者の思い、他の教員の思いを「傾聴」していきたいと思う。



### <書籍・雑誌の特別貸し出し>

教育センターでは、「情報公開コーナー（教科書センターを兼ねる）」をB棟2階に設けて書籍・雑誌等の閲覧や活用をしていただけるようにしてまいりました。今年度からは「大研修室1」の後方に研修内容

に沿った書籍や雑誌の一部を配架して貸し出しを行っています。これらの本も2週間貸し出すことができますので、ぜひご利用下さい。

初任者については研修が5月にもあるので、少し貸出期間を延ばして貸し出しを行いました。たくさんの初任者が教育に関する本を借りました。「連休中に読んでみよう」との声もあり、教育センターの書籍が教員の資質向上に役立つことを願います。

### <「5年目の春」>

教育センターが現在の場所（八尾市水越）に移転して5年目になります。最初は道に迷ったとか違う入り口から入ってしまったとか、いろいろ不慣れなこともありましたが、5年目に入って受講者の方々も要領が得られたようで、研修専用門（北西）で自転車やバイクを下車し、所定の位置に整然と停めていかれます。もちろん近隣の商業施設の駐車場に停める様な人はいません。受講者の方々の優れたマナーに負けないように、本センターも教育関連施設として環境整備に努めていきたいと思えます。

## 初任者・新規採用者研修

初任者・新規採用者研修を令和4年4月8日（金）午後3時～5時に行いました。総勢51名、うち事務職員2名、栄養教諭1名です。講義は教育政策課辻本大祐指導主事から「サービス・勤務条件・個人情報保護等」について、本センター川村泰司指導主事より「セルフマネジメント」についてです。

コロナ禍の中で、リモートで研修が行われることが多かったのですが、やはり実際に集合しての研修では、少人数のグループワークが盛り上がりました。特に初任者にとっては自分の学校以外に知り合いもほとんどなく、不安はいろいろあるようです。研修終了後、同じ班になったメンバーでLINEのグループをつくるなど交流を深めていました。研修の中で個人情報や情報モラルについても言及していましたが、教師自身ICTのツールを使いながらより良い使い方を考えていくことも必要でしょう。

### <受講者の感想>

- ・教職員としての自覚を持ちながら、自分の理想像に向けての具体的な気持ちと目標を再確認することができた。
- ・同じ八尾市で働く人と情報交換できたのでよかった。時間の管理の大切さや授業づくりの目標をきめることができたのでよかった。
- ・サービス規定や教育公務員として気を付けなければいけないことは、以前から留意していることはもちろんであるが改めて考える機会となった。これから働き続けるうえで疎かになってしまわぬように心がけたいと思う。



## 教育センター「情報公開コーナー」

教育センターB棟（東側）の2階に「情報公開コーナー」は常設です。今回は3月から4月に入った雑誌の誌名と目次の一部を紹介いたします。

「指導と評価」（日本教育評価研究会）4月号

- ・特集1 変わる高校教育
- ・特集2 ウィズコロナ時代の学校教育

「道徳教育」（明治図書）4月号

- ・特集 とびっきり楽しい！道徳授業開き完全読本

こころの科学「統合失調症のひろば」（日本評論社）No.19 2022年春

- ・特集 死について

「月刊学校教育相談」（ほんの森出版）4月号

- ・特集1 新年度、短時間で子どもとの信頼関係づくり
- ・特集2 異動してきた先生を孤立させないために

「特別支援教育研究」（全日本特別支援教育連盟編集、東洋館出版社）4月号

- ・特集 年度はじめにやっておきたい10のこと ～新しい時代の特別支援教育

「初等教育資料」（文部科学省編集、（株）東洋館出版社発行）4月号

- ・特集Ⅰ 教育目標の実現
- ・特集Ⅱ 学習指導要領における指導のポイント  
「総合的な学習の時間」評価基準の設定と評価方法の工夫改善

「中等教育資料」（文部科学省編集、学事出版）4月号

- ・特集 スタート！高等学校新学習指導要領

教育科学「国語教育」（明治図書）4月号

- ・特集 完全保存版 1人1台端末の国語授業開きパーフェクトガイド
- ・巻頭特集 5分でマスター！ 1人1台端末授業の基礎知識

教育科学「社会科教育」（明治図書）4月号

- ・特集 スタートダッシュ大成功！ 社会科授業開き はじめの一步

「新しい算数研究」（新算数教育研究会編集、東洋館出版社）4月号

- ・特集 令和の日本型学校教育とこれからの算数の授業づくり



お気づきでしょうか？

教育センターにはたくさんのお花があります。

樹木もあります。元中学校ですから当たり前と思われるかもしれませんが、移転してまる4年、それなりの手を加えて維持しています。何気なく訪れるセンターの風景も、見ようと思わなければ見えてこないものがあります。来所された際はぜひご覧になって心に潤いを与えていただけたらと思います。